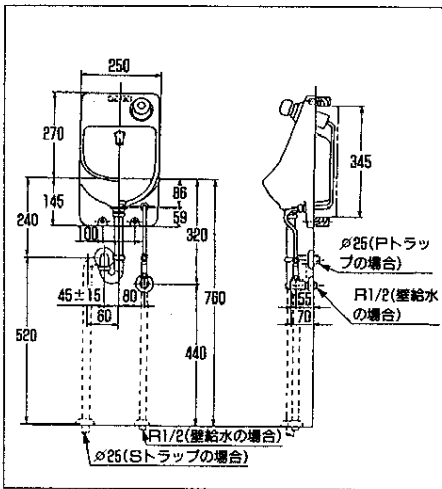


製品の機能が十分発揮されるように、

完成図

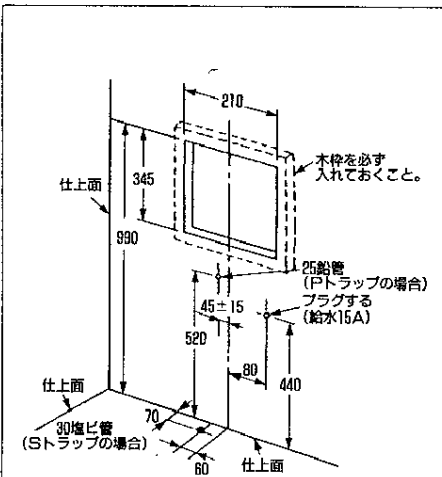


使用条件

使用水圧

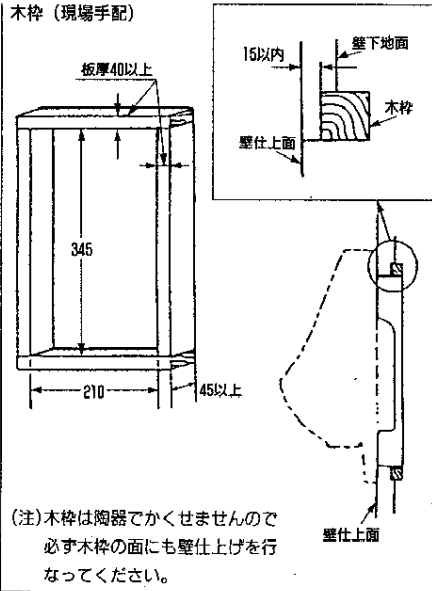
給水圧力 { 最低必要圧力…0.04MPa
最高圧力…0.75MPa

下準備



(注) Pトラップの排水位置は手洗器の中心から左又は右に45±15です。
(注) 壁仕上げ前に図のように木ねじ固定用の木枠を固定しておいてください。

木枠 (現場手配)



(注) 木枠は陶器でかきませんので必ず木枠の面にも壁仕上げを行なってください。

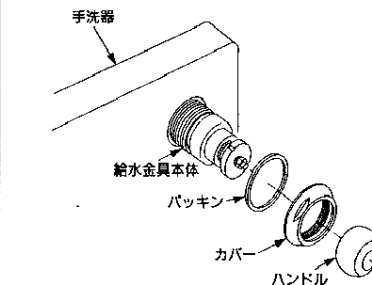
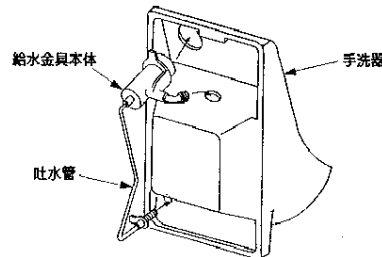
器具の取付け

次の手順で行ってください。

1. 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のこみ、砂などを完全に洗い流してください。
2. 給排水金具本体の取付け

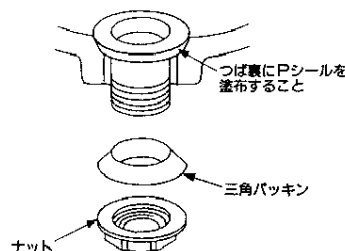
(1) 給水金具本体の取付け

給水金具本体を手洗器に差し込み、仮固定してください。



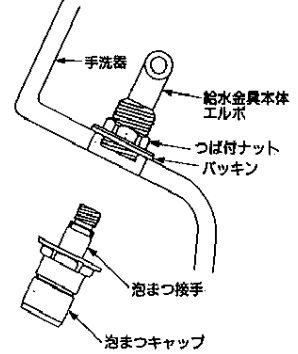
(注) 吐水管は変形しないよう取扱いに注意してください。
(注) 吐水管の結露対策は必要に応じて現場にて行ってください。

(2) 排水金具本体の取付け



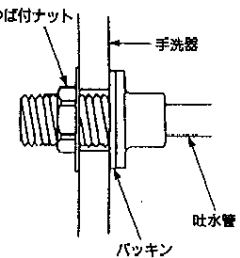
(3) 吐水口部の仮固定

手洗器に給水金具本体エルボをあてがい泡まつ接手で位置決めして仮固定してください。



(4) 本体吐水管部の取付け

手洗器に本体吐水管部を差し込み、つば付ナットで固定してください。



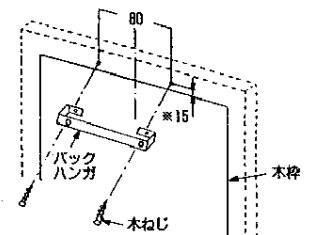
(5) 給水金具本体を本固定してください。

(6) 吐水口部を本固定してください。

3. 手洗器の取付け

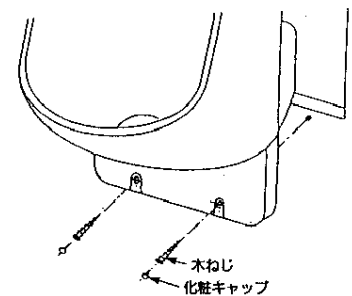
(1) バックハンガの取付け

バックハンガを所定の位置に取付けてください。
(注) バックハンガは木枠へ水平に取付けてください。
(注) 取付強度を十分確保するため、※印寸法は必ず守ってください。



(2) 手洗器の取付け

手洗器をバックハンガに引っかけて仮据えし、上部を押え手洗器が水平であることを確認して下さい。その後下部の取付穴の位置をけがし下穴をあけ、木ねじで固定してください。



施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり接着剤での固定はしないでください。

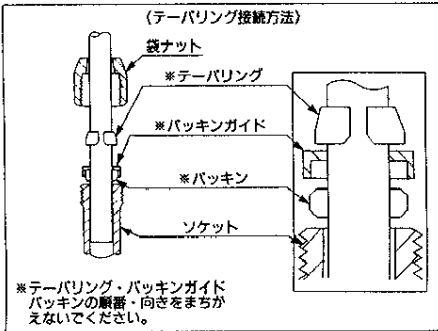
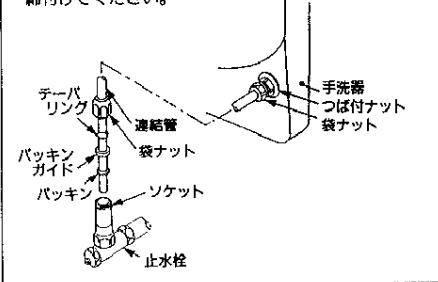
手洗器施工説明書

この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

4. 給排水管の接続

止水栓及び本体部以降の取付けを行い、給排水管を接続して下さい。

- ① 連結管に袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、ゴムパッキン、の順に入れて、ソケットを差し込んでください。次にソケットを止水栓にねじ込んでください。
- ② 最後に連結管をソケットに押しつけ、手締後1回転以上締付けてください。



取付後の掃除

泡まつキャップがつまると水の流れが乱れたり、吐水量が少なくなるなど機能が十分発揮されませんので器具取付後は必ず掃除してください。

なお、お客様にもとときご掃除していただくようにご指導ください。

水勢・吐水時間の調節

1. 水勢の調節

使用時に水飛びしない程度に止水栓で水勢を調節してください。

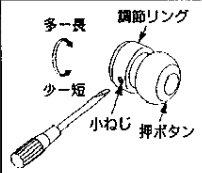
2. 吐水時間の調節

次の要領で適切な吐水時間に調節してください。なお、吐水時間の最大は60秒程度です。

① 調節リングの小ねじをドライバーでゆるめる。

② 調節リングを回して吐水量

又は吐水時間を調節する。
右回転……多くなる。
長くなる。
左回転……少くなる。
短くなる。



③ 押ボタンを押して吐水量又は吐水時間を確かめる。

④ 調節が終わったら、調節リングが回らないよう小ねじを十分に締付けてください。

お 手 入 れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意してください。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

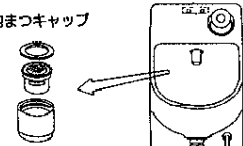
分 解 と 点 検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行なってください。

故障と点検箇所	
故障	点検箇所
水勢が強すぎる。	1
水勢が弱すぎる。	1
水が止まらない。	3、4
吐水時間が長い。	3、5
吐水時間が短い。	5
吐水量が多すぎる。	1、3
吐水量が少なすぎる。	1、2
吐水状態が乱れる。	2
調節リングが回る。	6

2目づまりはないか

泡まつキャップ



1調節不良

止水栓

